シネマズライフ

2019年2月15日発行 第158号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『ヨーゼフ・ボイスは挑発する』ああ、なんかほんとに挑発されそう…っと思わないのは、初めて聞いた名前だから。

【最近のこれはまずいぞ！】『宇宙戦艦ヤマト2202 愛の戦士たち／第七章 新星篇』最終章だそうですが、そうは思えない題名ですね(^^;)

映画の風景 日本の風景

⋇ 愛知県清須市 清洲城 ⋇

← 清洲城と桜

『清須会議』という映画があった。こんな映画だ。

天正10年6月。天下を目前に織田信長が《本能寺》で明智光秀に襲われ殺された。それと同時に長男・織田信忠も二条城で自刃してしまう。

〔本能寺の変〕である。

明智光秀は羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)に討たれ、ここで跡継ぎ問題が起こった。なんせ、織田信忠も自刃してしまったからだが、後はうつけ者として有名な次男・信雄と有能だが少々ひねくれている三男・信孝がいるが二人は低いレベルで一長一短。

しかし、筆頭家老・柴田勝家は信孝を支持、秀吉は信雄を推薦するが、ここに至って信雄のうつけぶりは直らず秀吉も困り果てる。

一方、秀吉に父を殺された信長の妹・お市の方は勝家を支持、信長の弟・信包は秀吉を支持していた。

やがて、清須城で跡継ぎ問題と所領問題の会議《清須会議》が開かれる事になり、信長配下の重鎮達が集まる事になった。

しかし、秀吉は跡継ぎとして信雄は頼りなく、苦慮していた所ある名案を思いつく…。

秀吉の権力掌握のきっかけを作った《清須会議》を三谷幸喜流に描く。

現在の清洲城は、平成元年に建てられた物でコンクリートで今残っているのは石垣のみ。なんと名古屋城築城の際、清洲城の資材が転用されたそうで歴史とは残酷なものである。

もちろんこれは、人間に対しても同じなのだが。

『清須会議』2013年日本 監督 脚本 原作：三谷幸喜
出演：役所広司 大泉洋 小日向文世 佐藤浩市 妻夫木聡 剛力彩芽 篠井英介 西田敏行

お市の方(鈴木京香)、秀吉(大泉洋)、勝家(役所広司)と演じる俳優が言い得て妙。特に信長(篠井英介)は出演場面が少ないとはいえビジュアルは織田信長である。

コラム

花粉症の季節がやってきた！件

今年も花粉症の季節がやってきた。

私も2月に入ってから、《頭痛》《咳》《目のしょぼしょぼ》の三点セットだ。

特に今年はひどいらしく、そこに【黄砂】が入ったりするからよけいややこしい。

昔は花粉症なんてなかったのに！と思うが、【花粉症】を病気として、〈発見〉されたのは60年代で、昔は《頭痛》《咳》《目のしょぼしょぼ》は病気として認識されていなかったのだろう。

原因は昔ならほんとに花粉ぐらいだったのだろうが、近年は【黄砂】【PM2.5】などがあり、【PM2.5】なんぞは〈発生源としては、ボイラー、焼却炉などのばい煙を発生する施設、コークス炉、鉱物の堆積場等の粉じんを発生する施設、自動車、船舶、航空機等、人為起源のもの、さらには、土壌、海洋、火山等の自然起源のものも含まれる〉(Wikipediaより)そうだ。

すると、花粉症は現代病ともいえるかもしれない。

化学の発達で人類は素晴らしい発展を遂げたと思う人も多いが、その分人間が弱くなっていっているようで、AIなどがこれから使われるようになると人間はどうなるのかと思ってしまう。

なぜか、化学が発達するごとに人間が弱くなってきている。

それは【なぜか？】と今一度考えてみる必要があるのではないか？

画像はフォトライブラリーから使用させていただきました。m(_)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

『宇宙人ポール』

スターチャンネル

2011年 アメリカ イギリス
監督:グレッグ・モットーラ
脚本 主演:サイモン・ペグ ニック・フロスト
出演:クリステン・ウィグ シガーニー・ウィーバー

2月17日(日)21:00(吹) 【チャンネル3】
2月18日(月)21:00 【チャンネル1】
2月20日(水)13:00(吹) 【チャンネル3】
2月22日(金)12:00 【チャンネル1】
2月26日(火)8:00(吹) 【チャンネル3】
3月15日(金)18:00 【チャンネル1】
3月18日(月)15:30 【チャンネル1】
3月20日(水)8:15(吹) 【チャンネル3】
3月22日(金)24:00 ⇒ 3月23日(火)0:00 【チャンネル1】
3月25日(月)18:15(吹) 【チャンネル3】
3月27日(水)26:00 ⇒ 3月28日(水)2:00 【チャンネル1】
3月31日(日)13:45 【チャンネル1】

イギリスからアメリカで開催された“コミコン”に参加の為やってきたＳＦ作家のクライヴとイラストレーターのグレアム。レンタカーでアメリカのＳＦの聖地を巡っている時に、なんと！あの有名な【エリア51】に監禁されていた宇宙人ポールに偶然遭遇。２人は故郷の星に帰りたいポールに協力する為に奮闘するが…。

公開当時やさぐれた宇宙人のポールが話題になった。主演のサイモン・ペグ、ニック・フロストが脚本を書いておりノリノリのギャグセンスが面白い。しかし、【エリア51】って本当にこんな感じなんでしょうかね。

『エイリアン』

WOWOW

1979年 アメリカ
監督:リドリー・スコット
脚本 原案:ダン・オバノン 原案:ロナルド・シャセット
音楽: ジェリー・ゴールドスミス
出演:トム・スケリット シガーニー・ウィーバーヴェロニカ・カートライト
ジョン・ハート イアン・ホルム ヤフェット・コットー

2月23日(土)24:30 ⇒ 2月24日(日)0:30 【シネマ】
3月25日(月)7:15 【シネマ】

２２世紀の宇宙。宇宙貨物船ノストロモ号は乗組員７人を乗せて地球の帰路に入っていた。ところが、ノストロモ号を管理するコンピューター「マザー」がある星の【信号】を受け取り、その星に向かっている事が判明する。乗組員達は意外な事態に驚くが、実はノストロモ号を所有する会社の規定で、他の星から信号を受けると調査に向かう事になっているという。しかたなく、その星にケイン、ランバート、ダラスら三人が調査に降り立つ。信号を送ったと思われる宇宙船はすで黒こげで、ケインが船の底に降り立つと卵のような物が乱立しており、そこから何かが飛び出しケインの顔に張り付いてしまった。

一方、二等航海士リプリーは星からの信号がＳＯＳではなく《警告》だった事がわかり、不安をつのらせる…。

この後シリーズ化され、なんだか生物誕生の一大叙事詩になってます。

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので、確認お願いします。

「妖怪大戦争」

2005年 日本
製作：水木しげる 荒俣宏 京極夏彦 宮部みゆき
監督 脚本：三池崇史 脚本：沢村光彦 阪倉篤彦
出演：神木隆之介 宮迫博之 南果歩 成海璃子 近藤正臣 岡部サダヲ 高橋真唯 荒山千明 石橋蓮司 竹中直人 忌野清志郎 豊川悦司

都会育ちの稲生タダシは両親の離婚の為、母の実家に帰り、少々ボケ気味の祖父と暮らす事に。

しかし、学校では苛められ、田舎暮らしは面白くない。そんな時、村の夏祭りで突然タダシは【麒麟送子】に選ばれる。【麒麟送子】は、山に住んでいるという大天狗が守る〈聖剣〉を取りにいかなければならないが失敗。だが、山から家出しているおじいちゃんの声が聞こえ、山へ向かう。

実は、最近日本の妖怪達が、魔人・加藤保憲に誘拐され、捨てられた機械・廃棄物と妖怪を大怨霊【ヨモツモノ】に混ぜ合わせて新しい悪霊【機怪】として復活させていた。

妖怪、猩猩(しょうじょう)・川太郎・川姫は、【麒麟送子】となったタダシに〈聖剣〉を使い元の世界に戻してほしいと願う。ようやく、〈聖剣〉を手にしたところ、加藤の手下・鳥刺し妖女・アギと【機怪】がタダシらを襲い〈聖剣〉は折られ、妖怪すねこすりは連れ去れてしまう。

そこで、猩猩は全国の妖怪達を集め、加藤保憲と【機怪】達と戦う事を決める…。

人間を憎む加藤保憲との対決の為に全国の妖怪達を集結させたシーンは圧巻！また、岡村隆史・忌野清志郎など妖怪にしたい俳優さん達が大量出演していて見どころ満載だ。

今を時めく神木隆之介君主演の大作。

捨てられた機械・廃棄物達に凌辱される妖怪達は人間と重なる訳でよく考えると、とても怖い映画でもあります。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！ 貴樹諒音

☆次回発行は3月1日です。発行予定は第1・3金曜日です。

【編集後記】

☆年賀状作成までなんとかもってくれたプリンターが、とうとう壊れた。なんとかもう少し頑張ってほしかったけど、そろそろ寿命だと覚悟がしていたのだが、それはほんとに突然やってくる(笑)。

「長年ご苦労様」と言う間もなく、今話題の〈エコタンク〉付のプリンターを購入。やっぱり便利だわ。

さて、新プリンターいつまで持つのかなって思うより「お前の使いか次第だよ」って、もう〈エコタンク〉君が私に囁いている…。

皆さまお体お大事に かしこ

シネマズライフ158号
発行人：貴樹諒音
発行日：2019年2月15日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １５８号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《ＷＯＷＯＷ》
『エイリアン』
《スターチャンネル》
『宇宙人ポール』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト